

生育状況は、満開で平年同（4/21）と平年並み～1日遅れの状態に推移しています。また、防除については、地域、品種間差が開いておりますので、園の状況を確認してから実施しましょう。

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

《プラム》（前回から約10～14日後目安）※必ず早朝散布「放花昆虫保護のため」

・散布時期：	5月上旬中旬（5月8日～5月12日頃）			・散布日	5月	日
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		・散布量		ℓ
	展着剤	10ml				
	サムコフロアブル10	40ml	（3日前、3回）			
	ウララDF	50g	（7日前、2回）			
	マイコシールド	50g	（21日前、3回）			
・対象病害虫：	ケムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）					
・散布量：	10a当り SS400ℓ 動噴500ℓ					
・注意事項	① 5月末までの農薬散布は、葉、果実とも軟弱であり、（時間帯・薬液量等）十分注意する。 ② アグレプト水和剤、アグリマイシン・100等のストマイ剤はぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。					

次回の散布（前回から約10日後目安）

・散布時期：	5月中下旬（5月18日～5月22日頃）			・散布日	5月	日
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		・散布量		ℓ
	展着剤	10ml				
	イカズチWDG	66g	（前日、2回）			
	モスピラン顆粒水溶剤	25g	（前日、3回）			
	アグレプト水和剤	100g	（30日前、2回）			
・対象病害虫：	シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）					
・散布量：	10a当り SS400ℓ 動噴500ℓ					
・注意事項	① 5月末までの農薬散布は、葉、果実とも軟弱であり、（時間帯・薬液量等）十分注意する。 ② アグレプト水和剤、アグリマイシン・100の剤はぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園に掛からないようにする。 ③ カイガラムシ類の発生がある場合5月下旬に、アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を特別散布する。					

《ブルー》（前回から14日後目安）

・散布時期：	5月中下旬（5月18日～22日頃）			・散布日	5月	日
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		・散布量		ℓ
	展着剤	10ml				
	アプロードフロアブル	100ml	（14日前、2回）			
	モスピラン顆粒水溶剤	50g	（前日、3回）			
	アグレプト水和剤	100g	（30日前、2回）			
・対象病害虫：	アブラムシ類、シンクイムシ類、黒斑病、かいよう病					
・散布量：	10a当り SS400ℓ 動噴500ℓ					
・注意事項	① アグレプト水和剤はぶどうにかかると種無し果を生じるので隣接園は注意する。 ② 黒斑病の発生する場合は、再度5月下旬にアグレプト水和剤1000倍（30日前、2回）を散布する。					

2. 今後の管理 摘果作業（結実判明後）

品種では、秋姫⇒大石早生⇒菅野中生⇒貴陽⇒太陽などの順に5月中旬頃から

- ・予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果
- ・園内が暗くなりやすいので新梢を整理しましょう。

- ・ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去しましょう。